

このページではみぬま見聞館(大宮南部浄化センター)のトピックスを紹介をします。

「ヨシガモ」とバードウォッチングのすすめ(1月に自然庭園で観察できる動植物について)

小寒、大寒の季節を迎え、自然庭園では枯葉が落ちて見通しが良くなった木々の間に、忙しく飛び回る野鳥が良く見えるようになりました。自然庭園では、ジョウビタキやツグミが、自然庭園に隣接する芝川では、コガモやハシビロガモなどたくさんの野鳥たちが今年も集まり、綺麗な姿や鳴き声が楽しめます。

今月は、中でも優雅で特徴のある冬鳥の「ヨシガモ」についてお話しします。

ヨシガモはカモ科マガモ属に分類され、オスの大きめの頭は、艶やかな濃い緑色が印象的で、光の加減で違った色にも見え、特徴的で目立ちます。翼の先も白黒の長めの飾り羽で、とても優雅な感じです。今シーズンも少数ではありますが、自然庭園脇の芝川で飛来を確認しています。

ところで、何気なく眺めているカモたちは、真冬の冷たい水の上で涼しい顔をして泳いでいますが、ヒトだったら大変なことですよね。

真冬に水辺で過ごすカモなどの鳥たちは、ヒトとは別の体温低下を防ぐ「ワンダーネット」という仕組みをもっています。これは足先に向かう温かい血液を、足先にそのまま送って冷やしてしまわずに、足先から戻る冷たい血液に熱を伝えて温めるといった構造になっています。この機能によって体温を保っているようです。

もっとも自然庭園脇の芝川には、大宮南部浄化センターなどで処理された温かくてきれいな水が流れ込んでいますので、鳥たちも居心地がよりいいのではないのでしょうか。特に寒い日は、たくさんの鳥たちが集まっているように思います。

冒頭で取り上げましたが、木々の葉が落ち、見通しが良くなり、ヨシガモをはじめカモなど大きくて動きの少ない野鳥も見られるこの時期は、バードウォッチングを始めるには最適な時期です。

みぬま見聞館では、双眼鏡の貸し出しも行っていきます。建物の2階や自然庭園の中、自然庭園脇の芝川など見どころスポットも多くあります。寒さ対策を万全にして、ぜひ自然庭園にお越しください。



ヨシガモのオス

大きめの頭の艶やかな緑色、翼の先の飾り羽が美しいです！



ヨシガモのメス

よく見るとつぶらな瞳をしています



シロハラ



アカハラ

自然庭園の通路で見かけるのは貴重です



アオジ

動きが早くせわしないので、写真に収めるのはたいへんでした

最近、自然庭園ではよく見かけます



メジロ

美しい声でさえずります



ダイサギ

写真ではわかりにくいですが大きいです



ゴイサギ

何かを狙っているのでしょうか？！



カワラヒワ

黄色い羽が印象的です



ジョウビタキのメス

冬になると自然庭園ではよく見かけます